

## 「夏休みの課題(宿題)とどう向き合いますか？」

今年度がスタートして4ヶ月弱が経過し、各学校は夏休みを迎えます。夏休みは、子どもたちにとって楽しみな一方、保護者の方にとっては負担が大きい、と言う声も聞きます。その中のひとつに「課題(宿題)」があるのではないのでしょうか。今回は「夏休みの課題(宿題)」をテーマにお伝えします。



### 【日常的な課題(宿題)と夏休みの課題(宿題)の比較+夏休みの課題完了に必要な力】

	日常的な課題(宿題)	夏休みの課題(宿題)
量	少ない(数日~1日で取り組むことを見越した量)	多い(30日程度で取り組むことを見越した量) ★課題の量と負荷、完了までに必要な期間を把握する力等
内容	日常的な学習に沿った内容	過去に履修したもの、なじみのない内容(作文・研究・コンクール等) ★既習事項の理解、課題内容を理解する力等
提出までの期間	短い(翌日提出、週末を経て提出)	長い(30日後に提出) ★夏休み期間の予定や課題に取り組む期間を見通す力、実行力等

### 【大人(保護者・教師)と子どもの「課題への取組スタイル」が異なることはおおいにあり得ます。】



早くに取りかかり、間に休息をはさんで、ラストスパートをかける!!  
 夏休み開始と同時に取り組み、早めに終わらせる。  
 毎日同じペースでこつこつと計画的に進める。  
 新学期直前まで楽しんで、一気に仕上げる!!

あなたはどんなタイプ?あなたがかわる子どもはどんなタイプ?

くもし、保護者・教師と子どものタイプが異なると…

(子ども)  
ギリギリに始めて一気に仕上げるタイプ

「間に合うのに急かさなくてほしい」  
「何回も言われて嫌になる…」

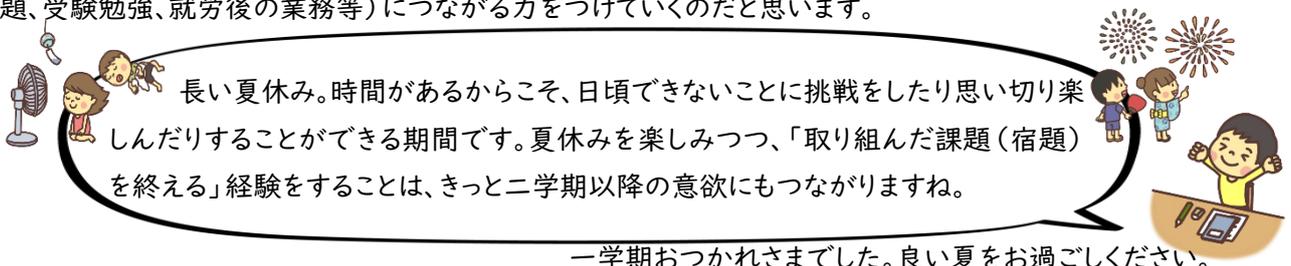


思いのズレ、分かり合えなさによるストレスが生じる可能性があります。

(保護者・教師)  
早めに終わらせるタイプ、又はこつこつと計画的に進めるタイプ

「なんでちゃんとやらないの!」  
「早くやりなさい!」

低年齢、経験の少なさにより、まだ必要な力がついていなかったり、理想と実際がズレたりすることもあります。課題の量・内容、提出までの期間の確認やスケジュールの計画を一緒にやることから始めるのも良いでしょう。子どもたちは、こういう経験を積み重ねて、自分なりの課題への取り組み方を見つけ、将来(次の長期的に取り組む課題、受験勉強、就労後の業務等)につながる力をつけていくのだと思います。



長い夏休み。時間があるからこそ、日頃できないことに挑戦をしたり思い切り楽しんでいられる期間です。夏休みを楽しみつつ、「取り組んだ課題(宿題)を終える」経験をするのは、きっと二学期以降の意欲にもつながりますね。

一学期おつかれさまでした。良い夏をお過ごしください。